

平成 28 年度 第 1 回磐田市総合教育会議 会議録

日 時 平成 28 年 9 月 29 日 (木) 午後 4 時～午後 5 時 00 分

会 場 磐田市役所 西庁舎 3 階 特別会議室

出席者 市長、教育長、杉本憲司委員、青島美子委員、田中さゆり委員、秋元富敏委員
(出席者 6 名)

事務局 企画部長、教育部長、秘書政策課長、教育総務課長、学校教育課長
秘書政策課政策・行革推進グループ長、同課同グループ主査、
教育総務課児童・総務グループ長、同課同グループ指導主事

傍聴者 0 名

[会議次第]

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 磐田市教育大綱の周知について
 - (2) 磐田市の教育について
 - (3) その他
- 4 閉 会

[協議の主な内容]

(1) 磐田市教育大綱の周知について（事務局説明）

市長

何かご意見、ご質疑があればお願いいたします。

教育長

作成するポスターは、大きさは何種類か作成する予定があるか。

事務局

基本的には、B2サイズのものを作成する予定ですが、学校などに確認して、大きいものが必要であれば、作成するようにしたいと思います。

委員

大綱を掲載しているものと、宣言文まで入っているもの2種類あるが、デザインの違う2種類を作成し、掲出場所によって種類を変えて貼ることは可能か。

事務局

2種類のデザインで、作成するようにしたいと思います。

(2) 磐田市の教育について

市長

教育を切り口に、日頃、委員のみなさんが感じていることなどをお話いただければと思いますが、いかがでしょうか。

教育長

近年、感じていることに“学校の塾化”がある。“学校の塾化”とは、塾と連携して学習に取り組んでいる学校の事例である。このような取組みの中でテストの点数を取ることだけが良いことのように錯覚している子どもたちもいる。テストの点数だけでなく、これからは、人間力が必要であると思っている。

市長

広島平和式典に小中学生を派遣しているが、近隣の市町村でも実施するようになってきています。また、小中一貫教育についても、同じような形で、周辺に波及してきています。このような人づくりについては、今後も続けていきたいと思っています。

子どもたちが過ごす、小中学校での9年間は、非常に大切であると常々思っていますが、これからも学校の先生が、熱心に教育に取り組める環境を整えることが必要であると考えています。このため、教育委員のみなさんと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

委員

新たな学校づくりの中間報告を受け、委員同士でも意見交換し合う機会を持ちました。9年間の学びは、30年先を見越した“磐田らしさ”を作るという意味では、「知」の部分だけに留まることなく、本来、人間のもつ「可能性」、即ち個々に内在する「人間力」を高められる教育環境を整備して行くこ

とが大切だと思います。

もっともっと自分が自然の中の一員であると自覚するために、体験と自然の中の学びの場をたくさん入れて、情緒・感性を育てることだと考えます。磐田市でしかできないことを教育の現場へ入れて行くことが求められます。素の人間がもつ「人間力」を高め、果敢に「未知未踏の世界」に挑んでほしい。人間は、そのための潜在的能力をもっているからです。

委員

磐田市は、コミュニティスクールなど地域とともに歩む教育を進めてきている。

これからは、地域力の育成がこれからは必要であると考えている。以前と比べると、子育てをしているお父さんやお母さんにとっては、現代社会は、子育て支援施策も充実していて、とてもいい子育て環境であると考えている。

保護者はそれに甘えることなく、責任を持って子育てをしていてもらいたいと思っている。

委員

磐田の教育は、他の自治体と比較しても先進的な部分も多く、進んでいると思っている。

日頃、感じていることとして、おとなしい子が多いように感じている。例えば、自分から前に出ていく様な子が育っていくといいなあと思っている。

以前の子どもたちには、放課後にも遊ぶ時間があり、時間に余裕があったが、現在の子どもたちは、塾に通い、部活にも取り組み、昔と比べると忙しい毎日を送っているにもかかわらず、国際競争力の面では劣っているという評価になっている。その原因について考えてみると、やはり、自然の中で遊ぶ時間が足りていないのではないかと感じている。このため、自然体験ができる研修施設などがあつたらいいのではないかと感じている。

委員

自分で考えて自分でやっていくという力が不足していると感じている。現代の環境は、親にも先生にも至れり尽くせりといった環境で、子どもたちも親自身も周りから色々な支援をしてもらっている。子どもたちも、恵まれた環境に慣れてしまっているので、厳しい環境での体験が必要ではないかと感じている。親も子どもの教育について人任せになってしまっているので、考え方を変えていく必要がある。親も子どもも、自立していくことが重要になってくると思う。

市長

学校長とお話しした際に、学校を「見える化」して保護者に学校の姿を伝えて欲しいとお話しした。また、要望などを何でも受け入れてしまっていることで、現場も大変になっていると感じた。

子どもたちには、1人でも多くの人との出会いを体験させたいと感じている。現代社会においては、人を測るものさしがテストの成績の優劣だけになってしまっているように思われるので、勉強以外の事で、ひとつの成功体験

を通じて、子どもたちは大きく成長できるとも思っている。

「教育とは何か」今後も、教育委員のみなさんと考えていきたいと思っている。